



ala 発 湘南探偵団



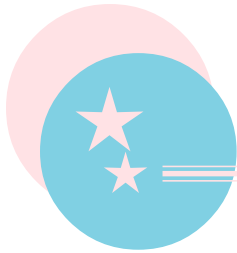
3月5日小劇場にてクルーズコンサート「ala発湘南探偵団」が行なわれました。開演前から長蛇の列。待ち時間にも熱気が溢れていました。クルーズコンサートは今回で2回目となります。ヴォーカルの佐藤嘉風君は八百津町出身。ふるさと八百津を思い浮かべながら作ることもあるという歌にはどこかしら懐かしさを感じられました。「Blue」、「無花果の頃」など1stアルバムを中心に休憩なしですすめられ、照明効果もあってか、ある時は鳥になった気分でもたある時は海の底にいるような気持ちになって歌の世界に引き込まれました。「楽しんでいってください」で始まったコンサート。地元から湘南探偵団が飛び立ちました。

昨年の5月から企画を練り、会議を重ねて9月頃ようやく出演者が決まりました。その後も検討を重ね、今日の開催に至りました。入場券も完売し、企画は大成功といえるでしょう。プロジェクトの皆さん、大変お疲れさまでした。



ala シネマコレクション 無声映画ワークショップ

平成17年12月17日、18日 佐々木亜希子氏を招いて、「無声映画上映会」及び「弁士になろう体験教室」を実施しました。無声映画の文化を、ただ懐古趣味にするのではなく、次に伝えてゆく創造性を発揮できるものになるのではと思っています。子ども達が、夜7時頃まで頑張っ、少しでも上手になり、皆さんに楽しんでもらおうという気持ちが伝わってきました。見る側とやる側の双方の感覚を子ども達が感じ取ったのでしょう。「子ども達の素晴らしい可能性を發揮させて上げたい。さらに継続してゆきたい」「古典的な映像文化と子ども達の新鮮な感覚を繋げてゆきましょう。」と佐々木亜希子さんも言われました。来年もまた体験したいと言う子ども達の言葉を、活力にして企画実施していきたいです。



佐々木亜希子弁士へのインタビュー★



最も印象に残る映画は？

チャップリンでは『黄金狂時代』や『街の灯』、『キッド』が大好きです。それからちょっと洒落た映画でエルンスト・ルビッチ監督の『結婚哲学』です。フィリッツラング監督の『メトロポリス』これは語りがいのあるいい作品です。

台本づくりにどのくらい時間をかけられますか。

最初に作る時は作品をなん回も観ます。2〜3日はかかります。原作のあるものは原作も読みます。英訳があるものも読みます。



弁士活動で楽しかった出来事は？

子どもたちが喜んでくれるとうれしいです。「もう1回見たい」とか「これを見に東京へ行きたい」と言ってもらえるとうれしいです。

好きな言葉

「それぞれの種はそれぞれの花を咲かす」 「笑顔は笑顔をつくる」。

明日の発表を控え、1日という短い時間で得た手ごたえを感じる力強いお話でした。若さ溢れる佐々木弁士の今後のご活躍に期待しております。

鉢と皿

ギャラリー展示

「心にひびくものたち」

11月23日から28日の6日間、心にひびくものたちⅤ「鉢と皿」がギャラリーで開催され746名の方が来場されました。この展示会はalaクルーズ設立以来シリーズで開催されております。これまでに「神札」、「土のうつわ展」、「布」、「書」と開催され、古今東西の美術品や工芸品などを展示してきました。今回は「鉢と皿」をテーマに開催され、多くの来場者が感動されたと思います。会場には、紀元前4000年頃のイランや中国の土器から桃山、江戸時代の日本の陶器まで幅広く展示され、国柄、時代によっての違いが分かりやすく並べられていました。また、



器に描かれている絵も初期の文様から次第にカラフルになっていく様子をはっきりと分かります。土を焼いて固める、各地で自然発生的に作られたであろう土器が長い年月を経て、それぞれの技術を高め今日私たちが眼にする陶器となってきました。その過程を一度に見渡せる工夫がされていました。普段ではなかなか見ることができない貴重な作品も多く、来場者は興味を持って1点1点を見つめていました。

パンフレットに書かれている、「何よりも観ることは楽しいと感じて欲しい」との声がこの展示会のテーマを如実に表現していると感じました。

可児郷土歴史館、豊蔵資料館をはじめ所蔵品を展示のために快く提供していただいた皆さまのご協力に感謝申し上げます。

////// ala クルーズ会員の研修会と交流会 ////

平成18年1月28日（土）16時30分から、創造スタッフ室にて名古屋大学大学院、清水裕之教授を囲み38名の会員の研修会と交流会が開催されました。



発足以来5年経ち、新しいメンバーの方に最初の経緯など理解を深めてもらうよう行われました。お話いただいた清水教授はアーラ建設に際し、基本構想の段階より専門委員として携われ、建設や運営に対して市民参加が不可欠であることを提案し進めてみえました。現在はクルーズ会員の一人でも有り、運営手法を成功事例として全国に紹介されています。今年の4月からは「放送大学・アートマネジメント講座」でも文化センターの市民参加による事例として講

座の中で4年間紹介されるとの事でした。又、他の特色ある事例なども紹介していただき、交流されたら良いとの、アドバイスもいただきました。交流会では、今後の進め方や抱負など軽食を取りながら話に花が咲きました。途中会員によるバンド演奏やビンゴゲームなども行われ楽しい一時を過ごしました。今回の交流会でスタッフの意識も益々高まり有意義な一時になりました。



岐阜ラジオ出演



2月20日大石理事が岐阜ラジオ「気分はそう快！BUN BUN ラジオ」に出演 番組中のHOTリポートのコーナーで、alaに埋め込まれたレンガについてお話をしました。「今回で3回目なんです、参加して下さった市民の皆様にも大変喜んでいただいております。」「埋め込まれた自分のレンガを、探し出すのも楽しいですよ。」「スペースはまだいっぱいありますので、これからも続けていきたいと思います。」僅か8分の出演でしたが、緊張したひと時でした。

「アーツマネージメントセミナー 2006」

2月15日から17日にかけて「アーツマネージメントセミナー2006」が国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。3日間にわたり各種のセミナーやシンポジウム等が開かれ、全国各地より数百名の官・民のホール関係者が一堂に会して真剣に討議していました。クルーズからは16日に開催された「全国に文化ボランティアの花を咲かせよう!!!」のセミナーに澤野理事長がパネリストで参加されました。全国で文化ボランティア活動が急速に活発化していますが、活動現場での問題や課題に対しどのように取り組むかについて実践者による事例報告がおこなわれました。会員からも有志5名がセミナーに参加し、熱心に耳を傾けていました。



編集後記

今年度のalaクルーズの事業もほぼ終わり、後は総会を残すだけとなりました。各プロジェクトチームの努力の結果、大成功に終わったようです。皆さんご苦労様でした。我々の企画する事業に多くの市民の方に参加いただきました。しかし・・・「本当に成功で終わった、よかったのか?」「何か反省することが残っているのではないか?」成功の蔭に隠れて見落としていたことがあるのではないかと、今後に活かせる何か・・・alaクルーズ全体で考えてみては?まずは広報グループから。発行したら終わりじゃないからね、次があるんだからと毎号反省の日々です。 (O)

進め! ステーション
転倒ハシ
(13) ほんだひろし alaクルーズ



ala クルーズ事務局 TEL/FAX : 0574-61-3414

<http://www.kpac.or.jp/alacrews/>

Mail : alacrews@kpac.or.jp